

- ◆特集！パワーアップしたプラットフォーム戦略室へ
- ◆鹿角ブランドアップ戦略レポート
- ◆平成25年度産業連携推進室の主な事業のご紹介

鹿角プラットフォーム戦略室3年目は実践段階へパワーアップ！

～市・かづの商工会もバックアップします！～

鹿角プラットフォーム戦略室は、2年間の研修期間を終え、今年度からいよいよ実践段階に入ることとなります。

「市内事業者が自分のワザやモノをもって集う」場である「プラットフォーム（P F）」の構築は、地域の産業の活性化、そして鹿角の「地域ブランド」向上・確立のため、積極的に推進していくべき課題と位置付けられます。

P F戦略室では、これまで農商工観連携、6次産業化、起業・創業について研修と実践を重ねてきており、P Fに参加する事業者の連携や、起業・創業を支援してきました。いよいよ3年目は、これを本格的に実践する年度と位置づけ、主に次の業務について推進していくこととしています。

1 事業者の販路拡大の支援

これまで特に食品系で築いてきた販路を生かし、P Fに参加する事業者の流通拡大を支援します。

市場全体の縮小、消費者ニーズの多様化は、モノが売れにくい要因となっていると考えられます。ニーズを的確にとらえ、それに的確に答えるモノを提供するマーケット・インの視点が重要です。まず売れることを優先に考えます。

必要に応じて、マーケティング調査やテスト販売なども実施します。



昨年度のかづの産業見合市



子供達も楽しく「ばんび☆バザール」

2 事業者間の農商工観連携の促進・6次産業化・事業化(創業)支援

P Fに参加する事業者間の連携や事業者単独の事業化（6次産業化・起業・創業）を支援し、新しいモノやより付加価値の高いモノの創出を支援します。

可能な場合は、行政等の各種支援制度も利用しつつ支援を行ないます。



ブランドアップ関係機関・代表者会議の様子

3 情報プラットフォームの構築

上記の実現の手法として、主に市内事業者の方が参加する「情報のP F化」を進めます。SNS（Facebook等）を利用した仕組みを検討しますので、多くの事業者の方のご参加をお願いします。



○藤原秀比古さん

鹿角プラットフォーム戦略室も、3年目を迎えました。今年度は、昨年度の事業を引き続き実施しながら、具体的な実践モデル実施し、鹿角地域が保有する【ヒ

ト・モノ・ワザ】の地域資源を効果的に活用しながら、鹿角型インキュベーションモデルの構築と、流通戦略の強化を主軸に事業を展開して参ります。また、農商工観連携による高付加価値商品の開発・6次産業化のビジネスモデルの構築、それらをどのようにして販売に結び付けるのか（出口対策）アクションプランを策定し実践して参ります。「まだ満たされていないニーズやウオント」を探し出し、どのターゲットに商品やサービスを提供して行くのかを強力に市場に打ち出し、流通チャネル戦略の基盤を強化しながら直接的・間接的に流通量を増やしていく事で、鹿角ブランドの認知度を高めて行きたいと思ひます。



○中村友紀子さん

昨年度は鹿角市補助金制度を活用した起業・創業支援、チャレンジショップ開設事業支援、小学生起業家体験プログラム「ばんび☆バザール」の実施、そして鹿

角地域初の試みとなりました女性をターゲットにしたビジネスセミナーの開催を行いました。

今年度は昨年度に引き続き、各種補助金制度を活用した起業・創業支援はもちろん、小学生起業家経験プログラムの鹿角モデル構築と開催、女性ビジネスセミナーの開催等を推進し、併せてSNSを活用して「プラットフォーム」としての情報発信を随時行い、地域ブランドの確立に寄与していきたいと思ひます。

【鹿角プラットフォーム戦略室】

鹿角市花輪字柳田14-1(かづの商工会内)

TEL:0186-25-8252/FAX:0186-23-2698

Facebook⇒<http://www.facebook.com/KazunoPF>

鹿角ブランドアップ戦略レポート

【コミュニティFMを応援します！vol.1】

桃花プロジェクト

昨年度加工品開発の課題となっていた、「桃の芳香」の件について、県総合食品研究センターに行き、相談をしました。その内容につきましては、次回開催のワークショップにて報告いたしますので、興味のある方はぜひご参加ください。



ワークショップの様子

しこっ魂きりたんぽの里プロジェクト (米粉プロジェクト)

これまでWSや勉強会、首都圏での展示会などを重ね、「しこっ魂きりたんぽの里」プロジェクトへと発展しました。今年度は、かつの商工会を主体とした統一ブランドの知名度UPと、継続したPR活動により、販路拡大へと定着するよう活動を展開してまいります。



プロジェクト商品一例

2年前、市民有志の想いから始まったコミュニティFM（CFM）開局に向けた活動。いよいよ今年度、結実しそうな状況です。情報流通の促進による産業全体の活性化や、防災面での利用も期待でき、市でもその活動を応援しています。

今号からは、随時、このCFM開局に向けた活動の状況などを取材し、お知らせしていきたいと思います。

さて、現在の状況は…夏ごろの開局を目標に、設立発起人会（8人で結成）は、4月中に正式な株式会社化を目指して活動中です。また「予備免許」の発行に向けて鋭意事務を進めています。皆様からも応援よろしくお願いたします。

※予備免許…開局申請書の審査の結果、基準に適合していると認められれば、一定の条件のもと与えられる免許。



パーソナリティ研修の様子

平成25年度産業連携推進室の主な事業のご紹介

地域資源の“販路拡大・PR事業”

～H25年度もやります！～ブランドアップ鹿角！～

今年度も引続き鹿角PF戦略室と連携し、首都圏等への販路拡大・PRを促進します。また、フェイスブック等を利用し情報発信を行うほか、売れる商品づくりと販路拡大を図るため、出口対策強化に取り組めます。



ちよだ青空市の様子

～(一社)新日本スーパーマーケット協会との委託事業を展開～

鹿角の地域資源（農産物等）の商品化や事業者（生産者）の営業力のスキルアップを図るため、専門家による指導・助言を実施します。また、本市の優良な地域資源の販路拡大に向けて、首都圏のスーパー等のバイヤーを招へいし、地元事業者との個別商談会を実施します。これらの事業を一体的に行うことを通じ、本市の地域資源のブランドアップを図り、市民所得の向上に繋がることを目指します。



スーパーマーケットバイヤーによる事業所視察

ブランドアップ補助金の活用について

地域資源を活用した新規性のある商品の開発や、研究・開発・販売促進などを行う事業者などを支援し、地域に根差したブランド商品を目指します！

事業の採択は審査会等を経て決定しますので、時間の余裕をもってご相談ください。

①農商工観連携

ブランドアップ事業費補助金

対象事業：他事業者との連携のもとに行う新商品の研究・開発事業など

対象経費：研究開発・販路開拓の経費

補助率等：2分の1（補助上限額150万円）

②地域資源・経営

ブランドアップ事業費補助金

対象事業：地域資源を活用した新商品の開発・販売促進事業など

対象経費：研究開発・販路開拓の経費

補助率等：2分の1（補助上限額50万円）

※中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新計画」の承認を受けた事業については、別途ご相談ください。

つぶやき ～コラム～

新採用職員が見受けられるこの時期になると、我が身を振り返ってよく思うことは、自分にも、何事にも真摯でフレッシュな時期があったはずなのに、いつの間にか薄汚れ冷めてしまった自分に気づかされる。

ブランドとは、信頼に込め続けること。時代に応じてブラッシュアップしていかなければ魅力を失ってしまう。それは人間にも当てはまることを気づかされる時期でもある。



昨年度開発商品